

三県架橋建設促進・第41回カヌー長島海峡横断大会 あの碧を越えて行こう



順調な滑り出し



声援にパドルを立てて応える選手

島原・天草・長島の三県架橋構想の機運を高めることを目的に第41回カヌー長島海峡横断大会が8月22日にあり、本町と天草市や長崎県南島原市のほか与論町、伊佐市の児童生徒合計60人が参加しました。

牛深港で行われた開会式では、川添健町長らが激励の言葉を述べたあと、小川鉄生さん（長島中3年）が「私たちの力強いこぎで、この大会が三県の絆を深め、橋をつなぐ大切な一歩となり、三県架橋の未来へ向かうことを願います」と力強く宣誓しました。

午前11時20分、スタートの号砲と同時に選手たちは

牛深港を元気にこぎ出しました。

懸命にパドルをこぐ選手たちは沖合で、大きなうねりに抗いながら、互いに声を掛け合い、8^ノの道のりを勇猛に乗り越え、約2時間かけてゴールの蔵之元艇庫に到着。海峡横断の成功を収めました。

8^ノに初挑戦した、江口創太さん（蔵之元小6年）は「牛深港付近は余裕があった。沖に出てうねりがきつかったけれど、救助船に頼ることなくこぎきれて達成感がある。この経験を糧に困難なことがあったら乗り越えていきたい」と誇らげな顔で話しました。



最後はみんなで記念撮影



ゴールまであと一歩、見守るサポーター